

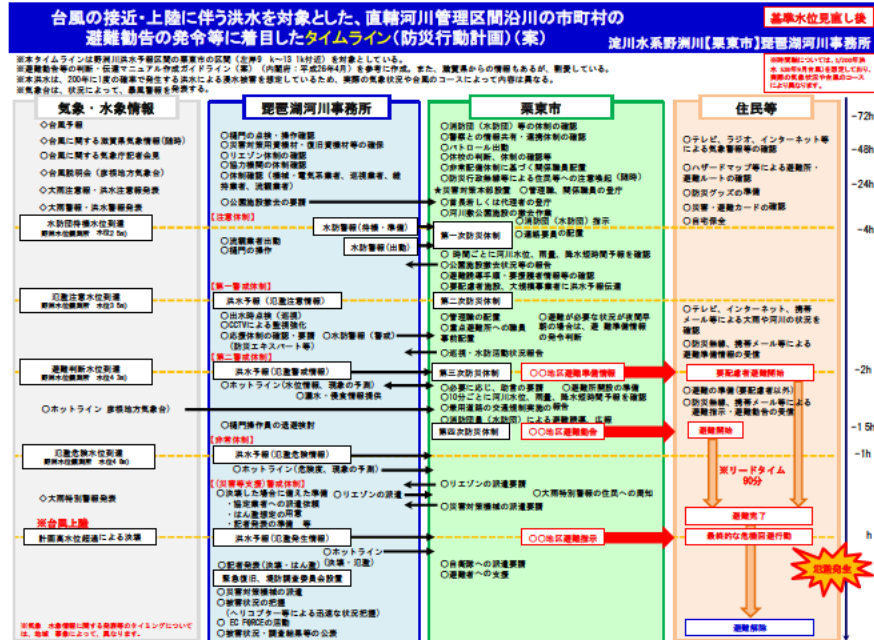
その他取組状況

No.	取組項目	目標時期	取組機関
3	上記タイムラインの作成支援	引き続き実施	近畿地整、気象台、滋賀県

取組の経過

- 平成29年6月 計画規模の洪水を対象としたタイムラインは完成 (草津市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市)

実施状況



栗東市タイムライン

No.	取組項目	目標時期	取組機関
4	出水期前に協議会においてホットラインの連絡体制を確認	引き続き実施	協議会全体

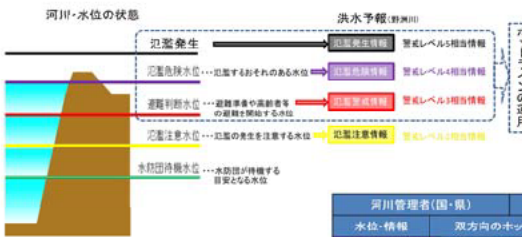
取組の経過

- 平成30年5月10日 第1回野洲川地域安全協議会において、ホットラインの連絡体制を確認。
- 令和元年5月7日 第2回野洲川地域安全協議会において、ホットラインの連絡体制を確認。
- 令和2年7月3日 第3回野洲川地域安全協議会において、ホットラインの連絡体制を確認。

実施状況

洪水予報河川・水位周知河川について

洪水予報河川：野洲川下流(野洲観測所【国】)、野洲川上流(横田橋・水口橋観測所【県])
 水位周知河川：草津川(西矢倉観測所【県])



水位の名称	河川管理者(国・県)		市町		発令等				
	野洲川下流	野洲川上流	野洲	横田橋	水口橋	北船橋	桐原橋	安吉橋	西矢倉
五取角時水位(レベル4水位)	野洲	横田橋	4.80	3.90	1.45	4.00	5.10	4.10	4.30
避難判断水位(レベル3水位)	野洲	横田橋	4.30	3.30	1.20	3.30	3.80	3.40	3.40
危険注意水位(レベル2水位)	野洲	横田橋	3.50	3.50	1.00	3.00	3.30	3.30	3.10
水防団待機水位(レベル1水位)	野洲	横田橋	2.50	1.50	0.65	2.00	1.80	1.80	2.30
避難判断水位から危険するまでの想定時間	4時間	3時間	3時間	3時間	2.8時間	2時間	2時間	4.5時間	1.5時間

No.	取組項目	目標時期	取組機関
9	長期間に及ぶ浸水継続地域、野洲川上流や日野川等の氾濫も想定した広域的な避難計画の作成	R2年度	協議会全体

取組の経過

- ・平成28年6月 野洲川下流洪水浸水想定区域図公表。
- ・平成29年7月 野洲川上流・杣川洪水浸水想定区域図公表。
- ・平成31年3月 琵琶湖洪水浸水想定区域図公表。
- ・平成31年3月 日野川洪水浸水想定区域図公表。
- ・令和元年10月 草津川洪水浸水想定区域図公表。
- ・広域避難計画の作成は検討中。

No.	取組項目	目標時期	取組機関
10	緊急輸送道路も活用した避難経路の検討	R2年度	協議会全体

取組の経過

- ・草津市では平成24年度に各学区の代表者等とワークショップを実施し、避難経路を記載したハザードマップを作成済み。
- ・緊急輸送道路も活用した避難経路の検討中

No.	取組項目	目標時期	取組機関
12	要配慮者利用施設の避難計画作成や避難訓練等の実施状況の確認	R2年度	協議会全体

取組の経過

- ・水防法に避難確保計画の作成が位置付けられたことから、各市で取組を実施中。
- ・滋賀県版の避難確保計画作成の手引き(案)に準じ、避難確保計画を作成中。

No.	取組項目	目標時期	取組機関
20	地域住民と連携したサイクリングによる避難経路・河川周辺の現地調査	H29年度から順次実施	協議会全体

取組の経過

- ・平成29年3月14日
第1回サイクリングによる野洲川周辺の現地調査
- ・平成29年10月18日
第2回サイクリングによる野洲川周辺の現地調査

No.	取組項目	目標時期	取組機関
21	市町村等の取組を支援する専門家のリストを作成および支援結果について協議会等の場で共有	R1年度から実施	近畿地整

取組の経過

- ・令和元年6月3日 水害(洪水・高潮)、土砂災害、防災気象情報の3種類において専門家リストを作成済み。
- (多自然川づくりアドバイザー:滋賀県独自の専門家リストが別で存在)

No.	取組項目	目標時期	取組機関
25	河川の防災情報を集約するためのポータルサイトの更新	引き続き実施	近畿地整、滋賀県

取組の経過

- ・平成28年度に「野洲川防災情報」のポータルサイトを構築。
- ・国土交通省「防災ポータル」サイトを開設

実施状況

野洲川の情報

お知らせ
3月28日 洪水情報のプッシュ型配信について掲載しました。

野洲川
0.47 m

野洲川
0.54m→

野洲川
0.52m→

野洲川
0.28m→

野洲川
0.75m→

日時	船部	野洲	中津橋	三雲	納典	水口橋	横田橋	北北橋	野洲大橋	多富橋	花山	前川橋	大田橋
2019/10/11 10:10	- m	- m	- m	- m	-2.84 m	-1.69 m	0.64 m	-0.52 m	0.28 m	-0.75 m	-0.53 m	-0.51 m	-0.06 m
2019/10/11 09:10	- m	- m	- m	- m	-2.84 m	-1.69 m	0.64 m	-0.52 m	0.28 m	-0.75 m	-0.53 m	-0.51 m	-0.06 m
2019/10/11 08:10	- m	- m	- m	- m	-2.85 m	-1.69 m	0.64 m	-0.52 m	0.29 m	-0.75 m	-0.53 m	-0.51 m	-0.09 m

リアルタイム情報
川の防災情報
野洲川 ライブカメラ
XバンドMPレーダー

防災情報
洪水情報のプッシュ型配信
避難経路
土防防災情報システム
気象庁
天気予報(滋賀県)

野洲川
地域安全協議会
野洲川地域安全協議会

防災学習
避難を促す緊急行動(県土防衛)
避難を促す緊急行動(自治体防衛)
浸水ナビ
県民避難シミュレーション
浸水リスクマップ
重要水防施設

重層水防施設(野洲川)
洪水浸水想定区域(野洲川)
洪水浸水想定区域(琵琶湖)
洪水氾濫シミュレーション

ハザードマップ
滋賀県
野洲市
守山市
東郷市
野洲市
通南市

<https://www.kkr.mlit.go.jp/biwako/bousai/portal.php>

No.	取組項目	目標時期	取組機関
27	洪水予報文の改良と運用	H28年度から実施	近畿地整、滋賀県、気象台

取組の経過

平成30年12月にとりまとめられた「水害 土砂災害ハザード リスク情報共有プロジェクトのプロジェクトレポート」に基づき、令和元年6月から警戒レベル情報の追加、簡潔 明瞭化した文を見直し。

令和2年3月に本省でとりまとめた「河川 気象情報の改善に関する検証報告書」に基づき、情報を絞り込み、短い文章で危機感が的確に伝わる文章を見直し。

令和2年6月、洪水予報等作成システムにて作成する洪水予報文の帳票（PDF 表示時）にて、河川名、地名、事務所名に読み仮名をつけるようシステムの改修。

実施状況

国土交通省

水害・土砂災害ハザードリスク情報共有プロジェクト(H30.12)を踏まえ、
河川・気象情報の改善に関する検証報告書(R2.3)を踏まえた対応

○令和元年出水時の見直し
○令和2年出水時の見直し

・【メール、発着者、発令内容、理由、行動要請、その他】と定型化させることで、メール受信者が分かりやすいものに
・掲載性の向上(見出し目次改訂表示)
・内容が凝縮している遊覧地図ガイドラインに、レベル表示を掲載することが明記される予定であることを踏まえ、警戒レベルを表記

○文章を短く(重複的な情報は省略し、必要部分は強調)
○「氾濫危険水位」など専門用語は使用しない。
○自治体からのメールとの違いを明確に

(件名) 河川氾濫発生
(本文) 警戒レベル4相当
こちらは国土交通省近畿地方整備局です。内容:野洲川の〇〇市〇〇地区(〇岸、〇側)付近で堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出ています。行動要請:防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、命を守るための適切な防災行動をとってください。本通知は、浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺でも受信する場合があります。国土交通省

(件名) 河川氾濫発生
(本文) 警戒レベル5相当
こちらは国土交通省近畿地方整備局です。内容:野洲川の〇〇市〇〇地区(〇岸、〇側)付近で堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出ています。行動要請:防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、命を守るための適切な防災行動をとってください。本通知は、浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺でも受信する場合があります。国土交通省

(件名) 氾濫発生
(本文) 警戒レベル5相当
野洲川で氾濫が発生
●●市●●地区(●●側)で堤防が壊れ、河川の水が住宅地などに押し寄せています。命を守るための適切な防災行動をとってください。(国土交通省)

レベル4
(件名) 氾濫のおそれ
(本文) 警戒レベル4相当
野洲川で氾濫のおそれ
野洲(野洲市)付近で河川の水位が上昇、氾濫が発生する危険があります
自治体からの情報を確認し、安全確保を図るなど速やかに適切な防災行動をとってください。今後、氾濫が発生すると、避難が困難になります
(国土交通省)

レベル5破壊
(件名) 氾濫発生
(本文) 警戒レベル5相当
野洲川で氾濫が発生
●●市●●地区(●●側)で堤防が壊れ、河川の水が住宅地などに押し寄せています
命を守るための適切な防災行動をとってください
(国土交通省)

レベル5越水
(件名) 氾濫発生
(本文) 警戒レベル5相当
野洲川で氾濫が発生
●●市●●地区(●●側)付近で河川の水が堤防を越えて住宅地などに押し寄せています
命を守るための適切な防災行動をとってください
(国土交通省)

No.	取組項目	目標時期	取組機関
32	ポータルアプリケーション方式による情報伝達訓練の実施による連絡体制の強化・確認（タイムラインの活用）	H29年度から順次実施	協議会全体

取組の経過

- ・毎年、出水期前に琵琶湖河川事務所において情報伝達訓練を実施。

No.	取組項目	目標時期	取組機関
33	市を越えた水防訓練の検討（広域避難計画の作成後に訓練を実施予定）	H28年度から順次実施	協議会全体

取組の経過

- ・国・県の作成する洪水浸水想定区域図が必要ですが、R1年度までに作成完了し共有。
- ・各市にてR2,3年度までにハザードマップを作成。
- ・それ以降、広域避難計画の検討。

No.	取組項目	目標時期	取組機関
38	浸水被害軽減地区を指定する際に参考となる土地に係る情報提供	H30年度から順次実施	近畿地整、滋賀県

取組の経過

- ・平成30年度に滋賀県により浸水被害軽減地区候補を11箇所抽出（いずれも甲賀圏域）うち10箇所は確認の結果対象外
- ・令和元年度に残り1箇所について確認作業中

実施状況

浸水被害軽減地区の抽出

＜取組37＞浸水被害軽減地区を指定する際に参考となる土地にかかる情報提供【実施：滋賀県】

【浸水被害軽減地区とは(水防法15条の6)】

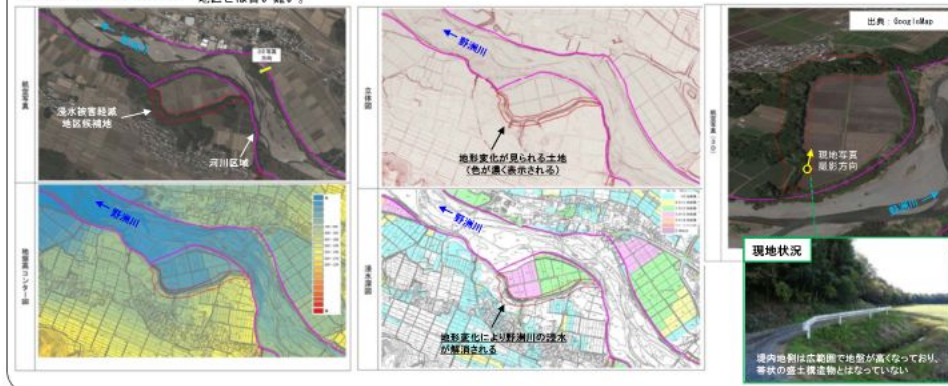
- ・水防管理者は、洪水浸水想定区域（当該区域に隣接又は近接する区域を含み、河川区域は除かれる。）内で、**輪中堤防その他の帯状の盛土構造物が存在する土地**（その状況がこれに類するものとして国土交通省令で定めると土地を含む。）の区域であって、浸水の拡大を抑制する効果があると認められるものを浸水被害軽減地区として指定することができる。
- ・浸水被害軽減地区において土地の掘削、盛土又は切土その他土地の形状を変更する行為をしようとする者は、行為に着手する日の30日前までに、行為の種類、場所、設計又は施工方法、着手予定日等を水防管理者に届け出が必要となる。

浸水被害軽減地区の抽出手順

- ①航空測量によるLP（レーザープロファイラ）データを用いて、立体図（CS立体図※）を作成
- ②立体図と航空写真を用いて、帯状の盛土構造物を抽出
- ③抽出した帯状の盛土構造物については、河川区域外であることを確認
- ④現地で輪中堤等の盛土構造物、自然堤防等であるか確認
⇒浸水被害軽減地区候補を11箇所抽出（いずれも甲賀圏域）
うち10箇所は確認の結果対象外、残り1箇所について確認中

※CS立体図は、標高データから傾斜と勾配を計算し、異なる色で彩色し重ねて透視図することによって作成する立体図。

（一例）甲賀市水口町和野 帯状の盛土構造物の河川側と堤内地側の地盤高の差が大きいものの、堤内地側は広範囲で地盤が高くなっており、洪水被害軽減地区とは言い難い。



No.	取組項目	目標時期	取組機関
40	浸水想定区域内の市への水害リスク情報の提供	引き続き実施	近畿地整、滋賀県

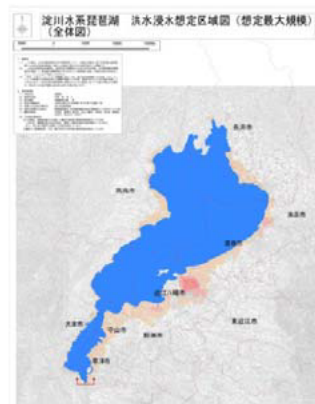
取組の経過

- ・想定最大規模を対象とした洪水浸水想定区域図の公表により情報提供。
- ・平成28年6月 野洲川下流
- ・平成29年7月 野洲川上流・杣川
- ・平成31年3月 琵琶湖
- ・平成31年3月 日野川
- ・令和元年10月 草津川

実施状況



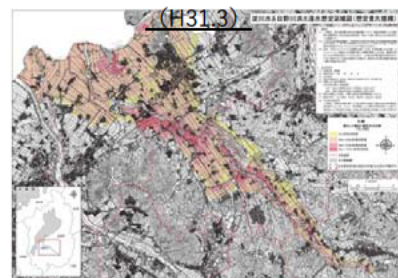
野洲川下流洪水想定区域図
(H28.6)



琵琶湖洪水想定区域図
(H31.3)



野洲川上流・杣川洪水想定区域図 (H29.7)



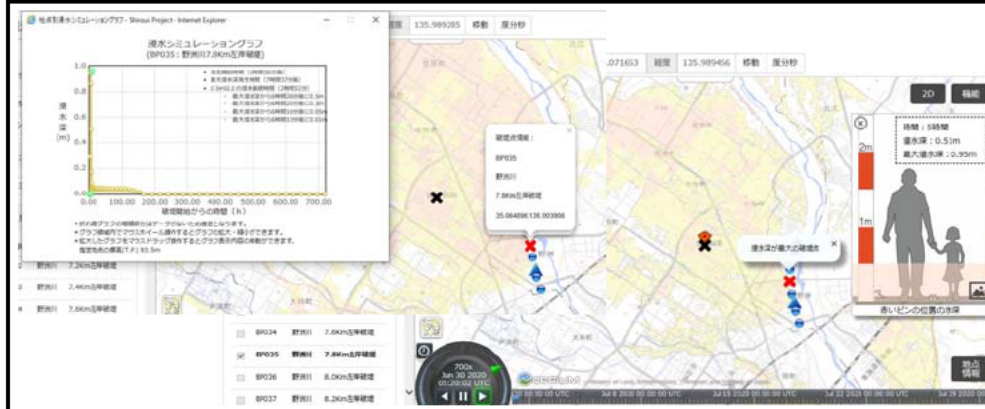
日野川洪水想定区域図 (H31.3)

No.	取組項目	目標時期	取組機関
42	浸水想定区域内の市庁舎や災害拠点病院等に関する情報提供	H30年度から順次実施	近畿地整、滋賀県

取組の経過

- ・「地点別浸水シミュレーション検索システム」(浸水ナビ)について、国管理河川においては公表済の想定最大規模については全ての河川において整備し公開済み
- ・今後の展開として、計画規模の外力を公開することによりきめ細かい災害リスク情報を提供することで市町村による洪水ハザードマップの作成及び利活用、住民等の主体的な避難計画検討を促進するもので全ての河川において一般公開を進める

実施状況



No.	取組項目	目標時期	取組機関
45	河川管理者が設置している樋門について、無動力化や新たな操作委託先について検討	引き続き実施	近畿地整

取組の経過

検討中

No.	取組項目	目標時期	取組機関
48	河川情報等の迅速な状況把握と関係機関への情報提供と共有	引き続き実施	近畿地整、滋賀県

取組の経過

- ・出水時には水防警報、洪水予報、水位周知等の情報提供を各機関に実施。
- ・「川の防災情報」国土交通省が運営する防災ポータルページ。気象・河川・土砂災害等を1画面でまとめて確認できる。掲載情報は、XRAIN（レーダ雨量）、気象警報・注意報、河川CCTVカメラ、川の水位情報、浸水の危険が高まっている河川、洪水予報、等

実施状況

「川の防災情報」は、リアルタイムで川の様子や雨の状況などを知ることができるWebサイトです。

記録的な大雨が降ると瀬田川や野洲川でも、川の水が堤防を越えたり、堤防が壊れるなど洪水が起こり得ます。洪水から身を守るためには、住民自ら情報収集することが大切です。

川の水位
各観測所におけるリアルタイムの川の水位と水位変化を見ることができ、氾濫の危険度がわかります。

雨量
高性能のレーダ雨量や観測所における降雨量を見ることができます。

川の様子
河川監視用のCCTVカメラの画像から、各地点のリアルタイムの川の様子を見ることができます。

まちと氾濫
氾濫した場合、どのくらいの深さまでまちが浸水する危険性があるかなどを、浸水想定区域図で見ることができます。また、各市町のハザードマップのページへ移動し、見ることもできます。

●サイトの操作方法

- ① 情報の見方
- ② 都道府県名を選択
- ③ ページ左上のタブから④ 市町村名を選択し、表示をクリック
- ⑤ 地図上から観測所やカメラなどを選択すると情報が表示されます。地図右の凡例を参考にご覧ください。

情報の見方や詳しい操作方法はページ上部の下部の「情報の見方」からご覧いただけます。

●「川の防災情報」へのアクセスはコチラ

PC版 スマホ版

○パソコン用サイト: <http://www.river.go.jp/>
○スマートフォン用サイト: <http://www.river.go.jp/s/>

QRコードからも

近畿川 野洲

No.	取組項目	目標時期	取組機関
49	野洲川（国管理区間）において緊急時に迅速かつ的確な対応を行うため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の作成	引き続き実施	近畿地整

取組の経過

- ・平成29年度、野洲川における排水作業準備計画案を作成。
- ・野洲川では、守山市服部地先、野洲市近江富土地先、栗東市辻地先で作成。
- ・排水ポンプ車の最適配置計画の作成は検討中。

No.	取組項目	目標時期	取組機関
51	浸水する緊急輸送道路の代替ルートの検討	R2年度	近畿地整、滋賀県

取組の経過

- ・国道8号野洲栗東バイパスを活用した緊急輸送路を検討中。

No.	取組項目	目標時期	取組機関
52	浸水が4週間以上に及ぶ湖岸地域の早期復旧に資する資機材の広域的な輸送計画の作成	R2年度	近畿地整、滋賀県、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市

取組の経過

- ・野洲川堤防や湖岸道路、名神高速道路等を活用した輸送計画を検討中。

No.	取組項目	目標時期	取組機関
53	広域的に資材を運用するための調整の実施	H28年度から実施	近畿地整、滋賀県、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市

取組の経過

- ・防災拠点を活用した資機材の運用方法を検討中。

No.	取組項目	目標時期	取組機関
62	水防活動や応急復旧活動に資する水防拠点整備	R2年度	近畿地整

取組の経過

- ・平成29年度に北流側帯を活用した水防拠点整備の概略検討を実施。
- ・令和元年度に北流側帯の上面利用計画検討。
- ・令和元年度に北流側帯にストーンブロック4tを240個新規設置。

No.	取組項目	目標時期	取組機関
61	危機管理型水位計配置計画に基づいて順次整備	H28年度から順次実施	近畿地整 滋賀県

取組の経過

- ・平成30年度に野洲川下流区間で2箇所設置。
- ・令和元年度に「川の防災情報」で一般公開済み。

実施状況

危機管理型水位計の設置 <取組60> 琵琶湖河川事務所

危機管理型水位計のデータも危機管理型水位計運用システム「川の水位情報」を通じて、クラウド上で閲覧可能となる予定

野洲水位観測所

観測水深から -6.35m

観測水深 0.00m

危険水位 -2.14m

現在は、既設の観測所が登録されているが、今後、危機管理型水位計も閲覧可能となる予定